

玉重委員（自民議連）

令和7年3月11日

教育長職務代理者答弁実録

（教育委員会）

（問）県立高校の魅力化に向けた取組の生徒及び保護者の受止めについて

県立高校の魅力化に向けては、地域のニーズや生徒・保護者の希望等に応えることが重要であると考えますが、これまでの学科改編などの学校の特色化について、県立高校の受験を検討している生徒や保護者にどのように受け止められていると認識しているのか、教育長に伺う。

（答）

県立高等学校の特色化に向けた、直近10年の取組といたしましては、

- ・ 令和4年度の全ての商業高校4校における情報ビジネス科への改編、
- ・ 平成31年度の庄原格致高校普通科における医療・教職コースの開設、
- ・ 吉田高校において探究科への改編、

といった学科改編などを行ってまいりました。

このうち、例えば、吉田高校におきましては、地域の関係機関とも連携しながら探究する学習活動を充実するため、探究科を設置しており、これまで、「伝統芸能探究」「スポーツ探究」といった科目の開講など、特色ある教育を展開するとともに、高校在学中に連携した大学への進学を含め、生徒の進路希望に応じた学びの提供など、期待を踏まえた取組ができているものと考えております。

一方で、近年の入学者数は地元中学校の卒業者数が減っていることもあいまって年々、減少しているという状況があり、学校・学科の特色や魅力が生徒や保護者に十分に伝えきれていないといった課題があるものと認識しております。